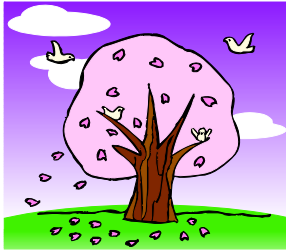


家庭教育通信

「家庭教育通信」は子ども達のすこやかな成長を願い、よりよい家庭教育について皆で考え行動することを目指して、白井市教育委員会が情報を発信するものです。

VOI.11



発行：白井市教育委員会

監修：白井市家庭教育講座講師 富澤 裕子

お問い合わせ：白井市教育委員会 教育部 生涯学習課

TEL 047(492)1111

～親のうれしい気持ちをことばにして伝えましょう～

この通信を読んでくださっているお父さん、お母さん、そしてご家族の方、思い出してください。今朝から今までの間にお子さんにかけたことばを。

どんなことばでしたか？

「早く起きなさい」「顔を洗って」「ポーっとしてないの」「早く食べなさい」「靴下はいつものところにあるでしょ」「歯を磨いて」「気をつけてね。寄り道しちゃだめよ」「友達を待たせちゃだめよ」「いってらっしゃい」と送り出しましたか。

また、お子さんが帰って来た時、「おかえり」「寒かった？」

「コートは脱いできて！花粉が入るでしょう」「手を洗って！

うがいも忘れないで」「ゲームはいい加減にきなさいよ」

「宿題は？お手紙は無いの？」など。

あるいは、何もことばをかけなかったでしょうか。

あゆむ

歩君が学校からのお便りと一緒にテストを出すと、お母さんは

「なんだ85点？どこ間違えたの。なんだ、これはすぐできるよ。95点は取れたのに」

すると歩君は「ママは、どうしてできなかったところばかりをいうの？がんばったんだよ。前より良くなったのに、どうして怒るの？85点じゃどうしていけないの？」と言いました。



親にとって子どもの成長はとても楽しみなものです。赤ちゃんの頃から這えば立つことを願い、立てば歩くことを望みます。親は子どもに、もう少し、もう少しと高みを期待します。それは、子どもの成長を願う親心でしょう。また、子どもにとっては、親が喜んで褒めてくれることは最高の喜びです。愛され受け入れられていると感じるからです。子どもは生きていくために愛されることが必要です。ですから親が認めてくれること、喜んでくれることを健気なまでに努力をします。この両者の思いがかなっているときは良いのですが、いつも良い結果が出るとは限りませんし、親の期待が子どもにとって過度になっていると、子どもは辛いものです。

精一杯がんばっても認められなかったり、結果だけを捉えて努力を認められなかったりしたら、あなたならどう感じますか？悲しく辛いことでしょうか。子どもも同じです。反面、子どもの成長を願うからこそ子どもの行動が心配になって、つい口うるさくなってしまいうのも親心の違った一面で

す。

しかし、毎日行動を否定批判することはばかりでは、子どもに「愛されていること」、「認められていること」は伝わりません。ですから、これまで親の気持ちや何を困っているのかを子どもに分かりやすく伝えることを紹介してきました。

お母さんは、「がんばったのにね。ママも残念だなー。」と歩君を思いやりながらお母さんの気持ちを「わたしメッセージ」に言い換えて伝えました。

すると、歩君は、「そうなんだよ。もう少しいいかと思っていたんだ。でも、次もがんばるよ」とニコッとしました。子どもは未来へ向かって行けます。

今回は率直に子どもに、温かい親の思いを伝える言葉かけをご紹介します。

親は、親の困ることや嫌がることを子どもがしたとき不快に感じます。

逆に、子どもが親にとって好ましいことをしたときや、特別に秀でて応援したいと思うときには、嬉しく感じます。

多くの親は、両極に見えるこれらの感情を、言い方は様々でしょうが伝えることをします。けれど、普通のことに目を向ける親は少ないようです。「おはよう」と言って当たり前。「ただいま」といって帰ってくるのが当然。機嫌よくしているべき。親はなかなか普通を認めず見落としがちですが、当たり前を改めて見直して、認めて言葉にして伝えることは、子どもの存在そのものを認めることでとても大切なことです。“普通のことに目を向けて言葉として伝えること”で、温かい親の思いが伝わるのです。

あなたは、どちらが多いでしょう。

『歩が「おはよう」を言ってくると、うれしいな』

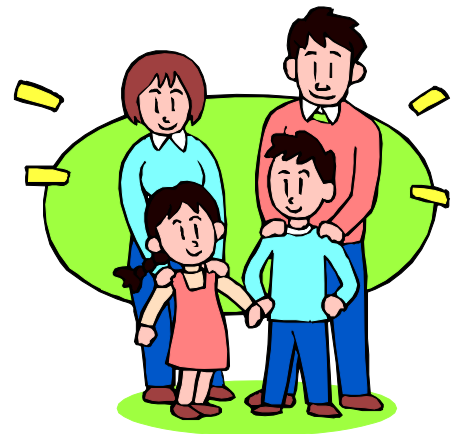
『元気に「ただいま」って言う声を聞くとほっとするよ』

『ニコッと笑う笑顔が大好き』『お弁当が空っぽだと、うれしい』

『重い荷物を持ってきて、ありがとう』『ゴミ出しを手伝ってくれて助かったわ』

そして、『大好き』

3月は学年末、一年の締めくくりです。成績表だけを見て子どもを評価するのではなく、その子なりの成長を喜んで親のうれしい気持ちをことばにして伝えましょう。



困ったとき、一緒に考えてみませんか？

家庭教育の悩みや不安について相談するには、

白井市教育センター室 ☎047-492-2301

千葉県子どもと親のサポートセンター ☎0120-415-446

千葉県総合教育センター特別支援教育部 ☎043-227-1166

(障害のある・あるかもしれない子どもの養育や教育について)

養育上の悩みや非行・虐待など児童の福祉相談するには、

中央児童相談所 ☎043-253-4101

(子ども・家族110番)

白井市家庭児童相談室 ☎047-497-3477

(社福)千葉いのちの電話 ☎043-227-3900

(ひとりぼっちで悩まずに……24時間・年中無休)

子どもの非行などを相談するには、

少年センター(千葉県警) ☎0120-783-497

県内の相談場所